

登録コード	E8860400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	小倉 光明
英文授業名	Graduation Thesis					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室		授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	進級試験に合格していること
信大コンピテンシー	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				技術教育に関する公共的な使命感や倫理観を身につけることができる		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				技術教育に関する基礎的な知識・技能を身につけることができる		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・ 技術教育, 情報教育, 情報技術におけるさまざまな課題を与え, 自らの関心事として探究し, 課題の探求能力と研究手法を身につけるように演習を行う。						
(5)授業計画	以下を通年にわたって実施する。 (1)技術教育の研究内容 (2)情報教育と情報技術の研究内容 (3)課題の大まかな設定 (4)先行研究の調査 (5)先行研究の検討 (6)課題設定と研究計画 (7)情報収集とその内容検討 (8)課題内容に応じて, 調査またはシステム開発 (9)必要に応じて, 調査またはシミュレーションの結果, 開発したシステムの評価と検討 (10)必要に応じて, 調査またはシステム開発の追加 (11)研究内容のまとめ (12)研究内容の発表 授業アンケート						
(6)成績評価の方法	・ 取り組みの経過と結果 (50%), 卒業論文の内容 (30%) と卒論発表の内容 (20%) から総合的に評価する。 ・ 得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(7)成績評価の基準	・ 日頃から取り組んでいて, 比較的容易に調査可能な研究内容を論理的にまとめてあれば「水準にある」, 工夫を込めた応用的内容であれば「やや上にある」, 新規で有用な内容であれば「かなり上にある」, さらに学会論文相当の内容であれば「卓越している」と評価する。						
(8)事前事後学習の内容	・ 予習: 研究を進めるにあたって必要な基礎項目, 要素技術等の課題を見出して, 調査, 確認しておく。 ・ 復習: 学習習得内容を研究の進捗に応用して確認する。指摘項目について調査, 確認しておく。 ・ 必要に応じて, 調査や, システム開発設計の計画を行う。						
(9)履修上の注意	・ 進級試験に合格していること ・ 自らが課題を持って, 主体的に取り組むこと。 ・ 進捗状況は研究室内で共有し, 常に協力し合えるように進める。						
(10)質問, 相談への対応及び連絡先	・ W221室 連絡先: m_ogura@shinshu-u.ac.jp						
【教科書】	・ 適宜提示する。						
【参考文献】	・ 適宜提示する。						